

写 真 図 版



史跡高天神城跡遠景



堂の尾曲輪作業風景

図版-2



堂の尾曲輪完掘状況



堂の尾曲輪検出小屋掛け遺構

図版-3



堂の尾曲輪西側横堀



井戸曲輪調査前（北端部）

図版-4



井楼曲輪調査前（南側）



井楼曲輪完掘状況

図版-5



井楼曲輪完掘状況（北端部）



井楼曲輪完掘状況（南側）

図版-6



井楼曲輪櫓台下横堀



井楼曲輪西側横堀

図版-7



二の丸調査前



袖曲輪調査前

図版-8



二の丸完掘状況



袖曲輪完掘状況

図版-9



二の丸西側 敵堀完掘状況



堀切南完掘状況

図版-10



井楼曲輪櫓台下腰曲輪完掘状況



二の丸西側尾曲輪完掘状況

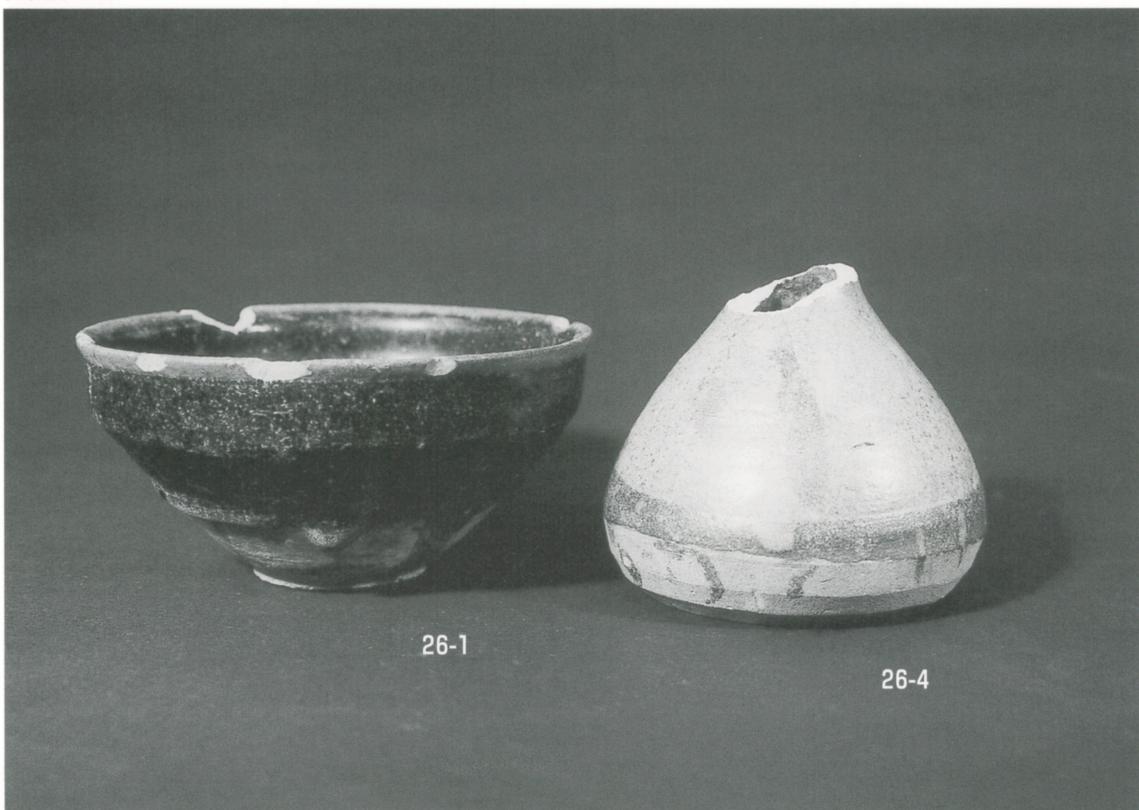


堀切北完掘状況



横堀土墨完掘状況

図版-12

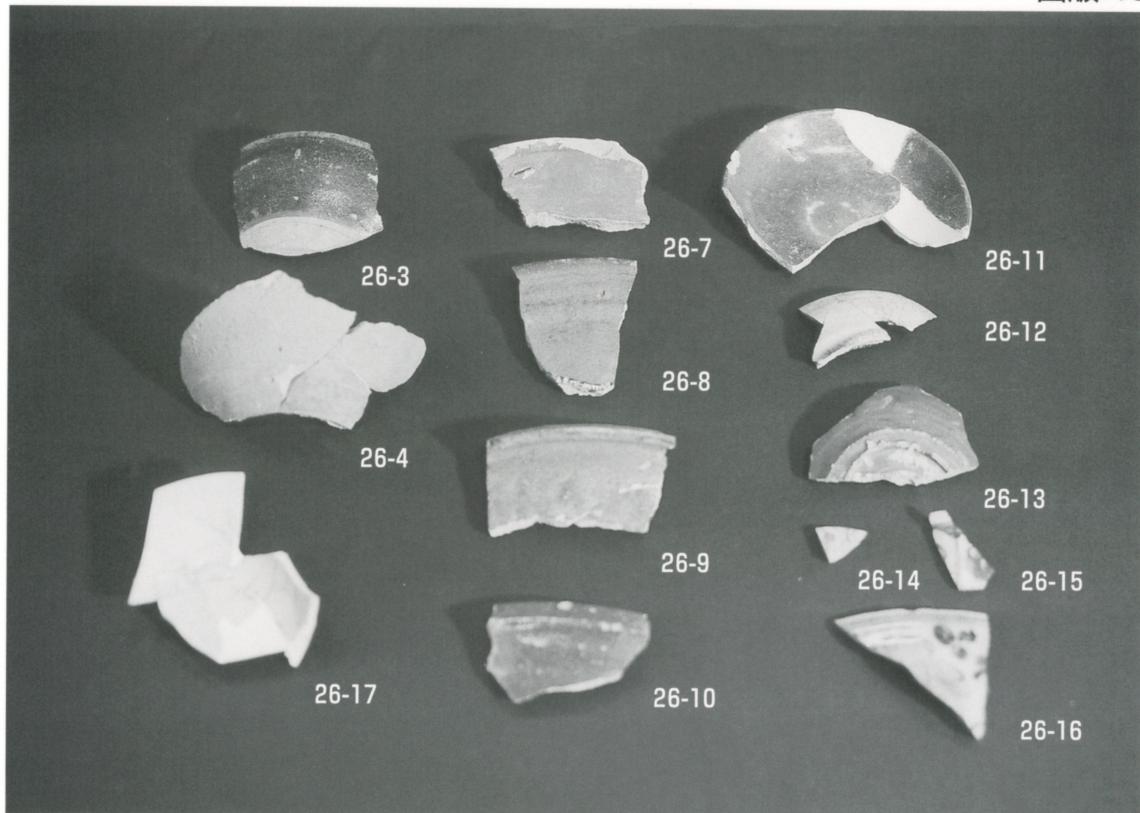


堂の尾曲輪出土遺物 ①

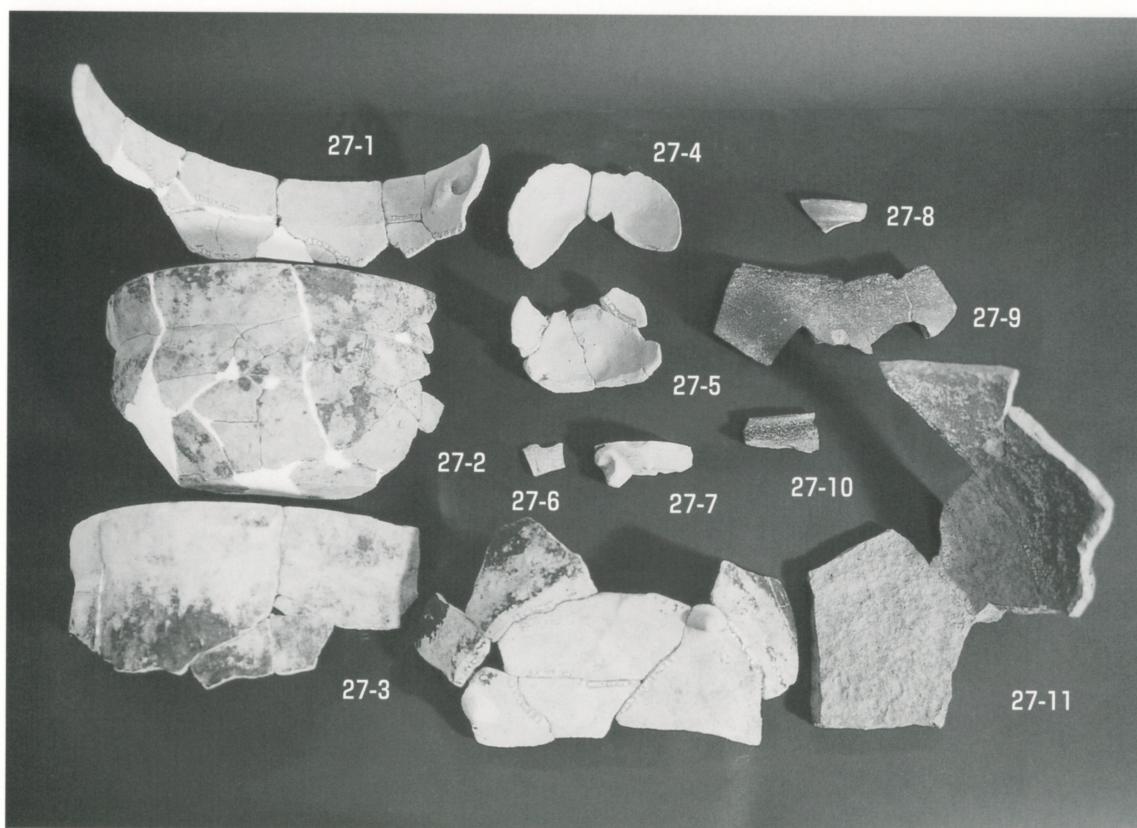


堂の尾曲輪出土遺物 ②

図版-13

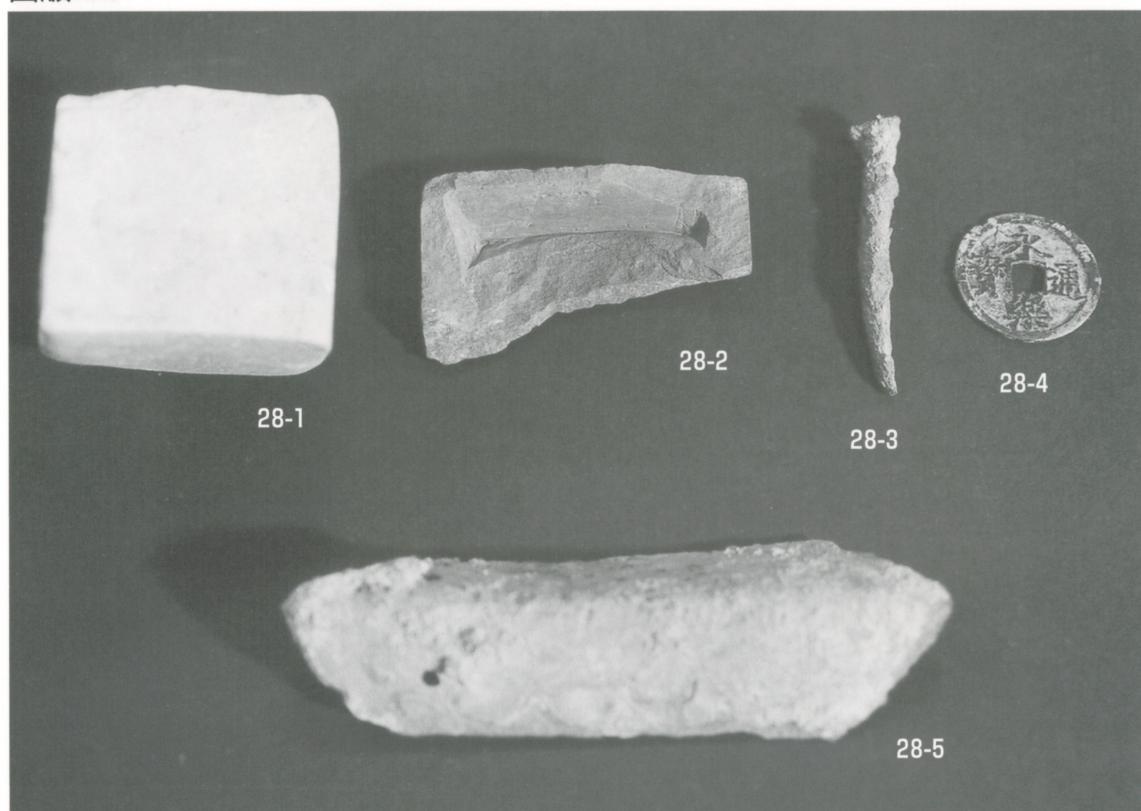


堂の尾曲輪出土遺物 ③

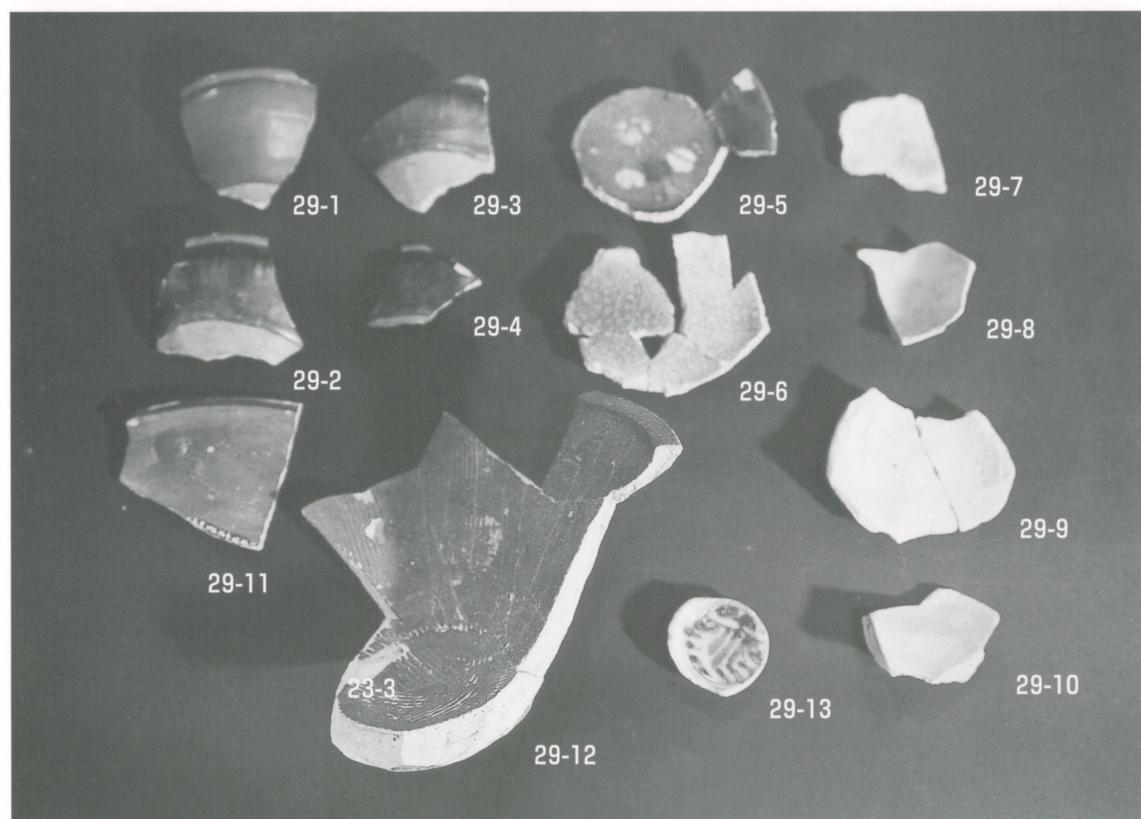


堂の尾曲輪出土遺物 ④

図版-14

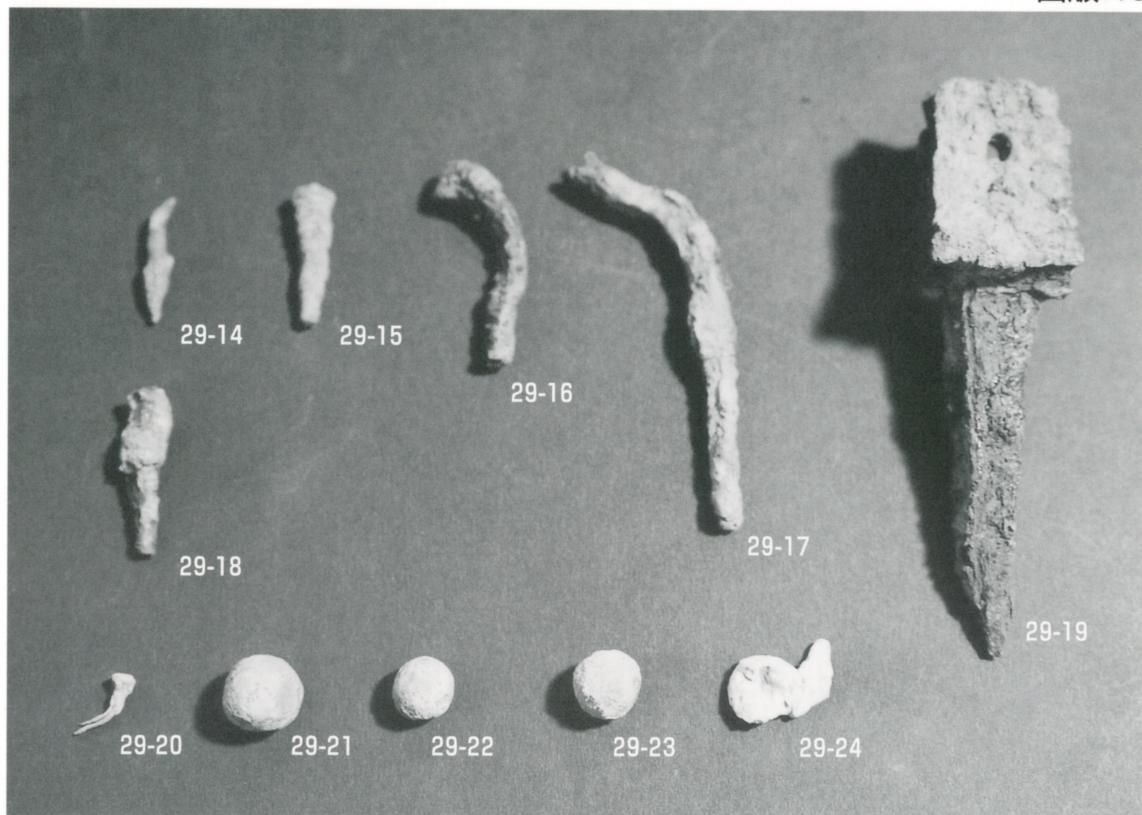


堂の尾曲輪出土遺物 ⑤

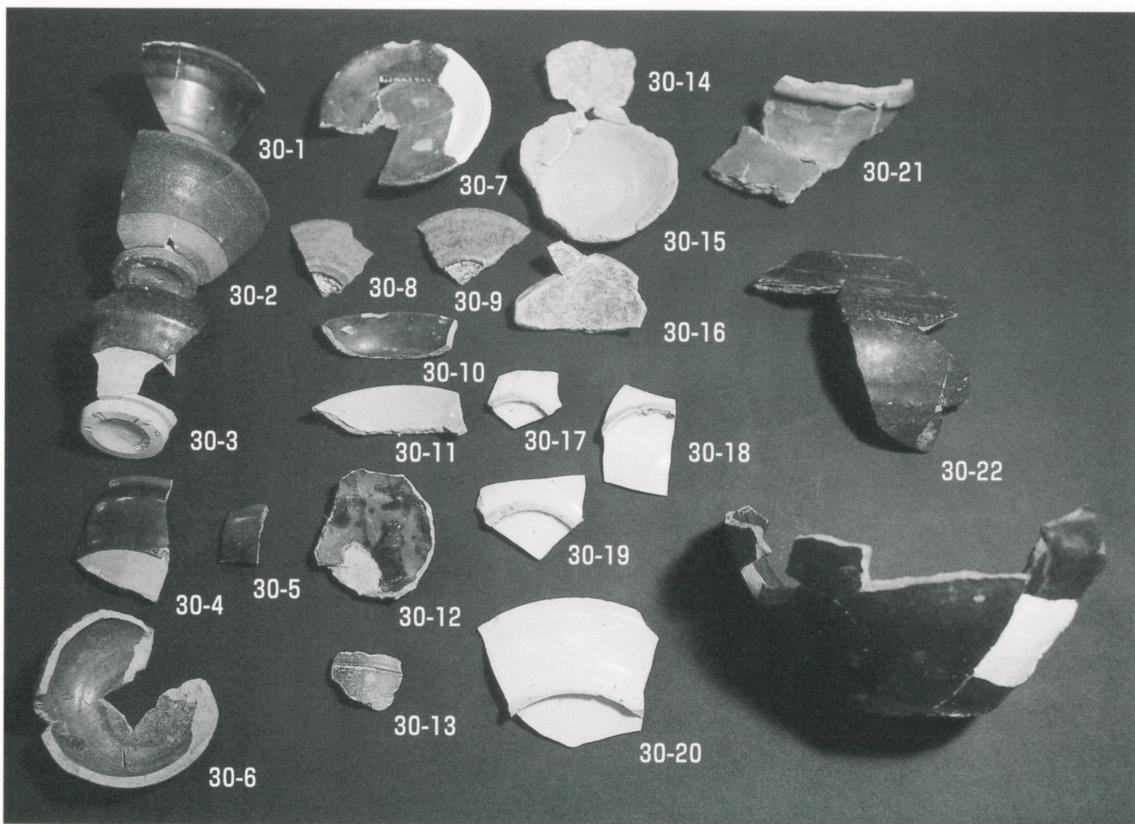


井戸曲輪出土遺物 ①

図版-15

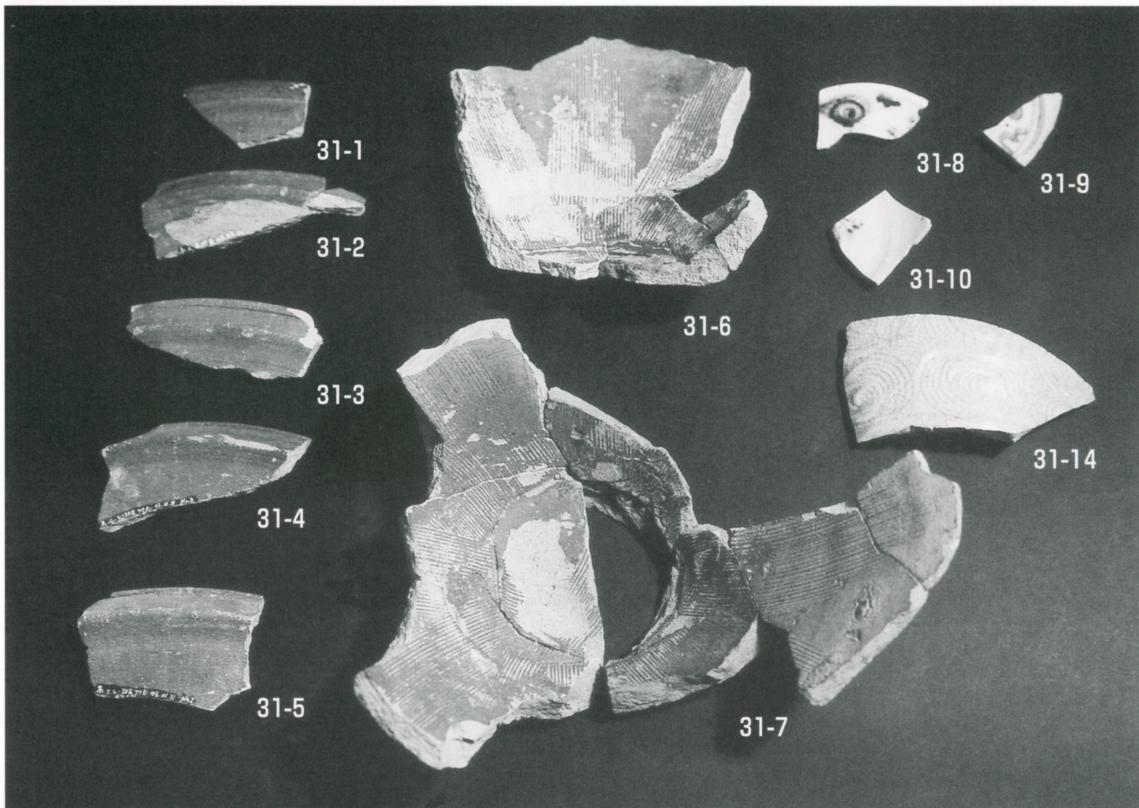


井樓曲輪出土遺物 ②

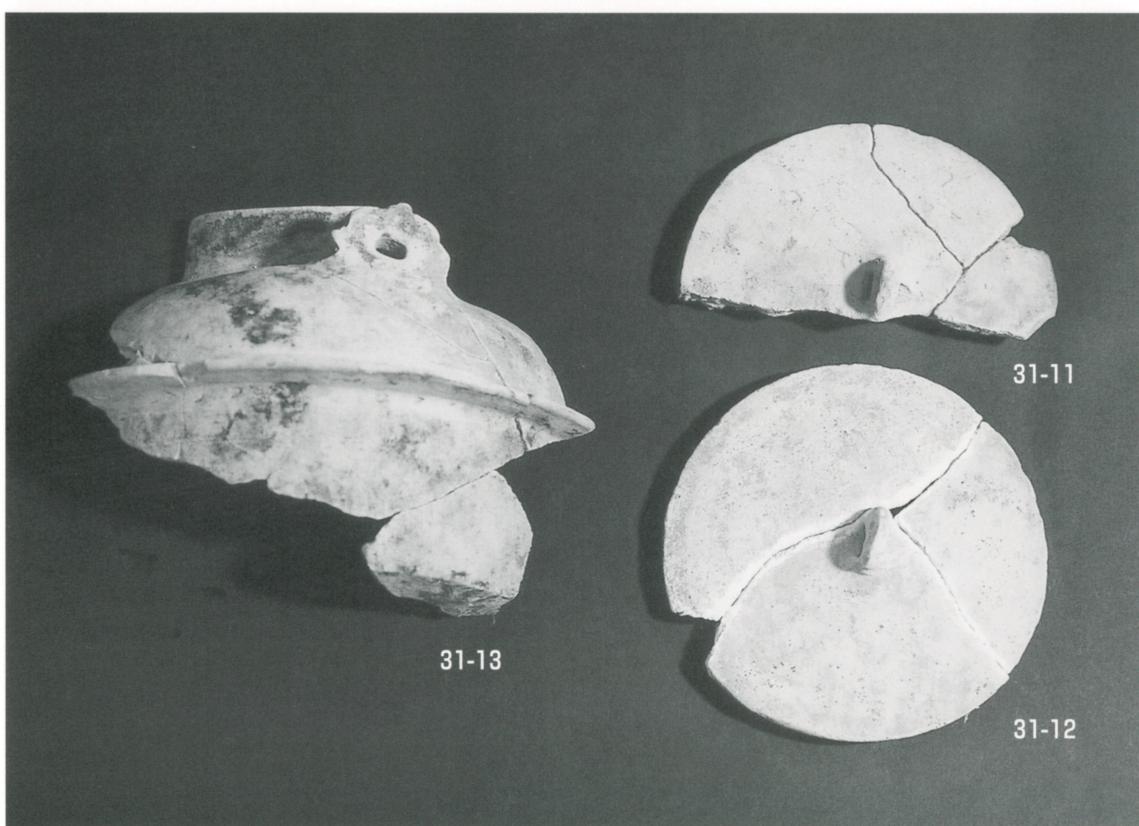


二の丸出土遺物 ①

図版-16

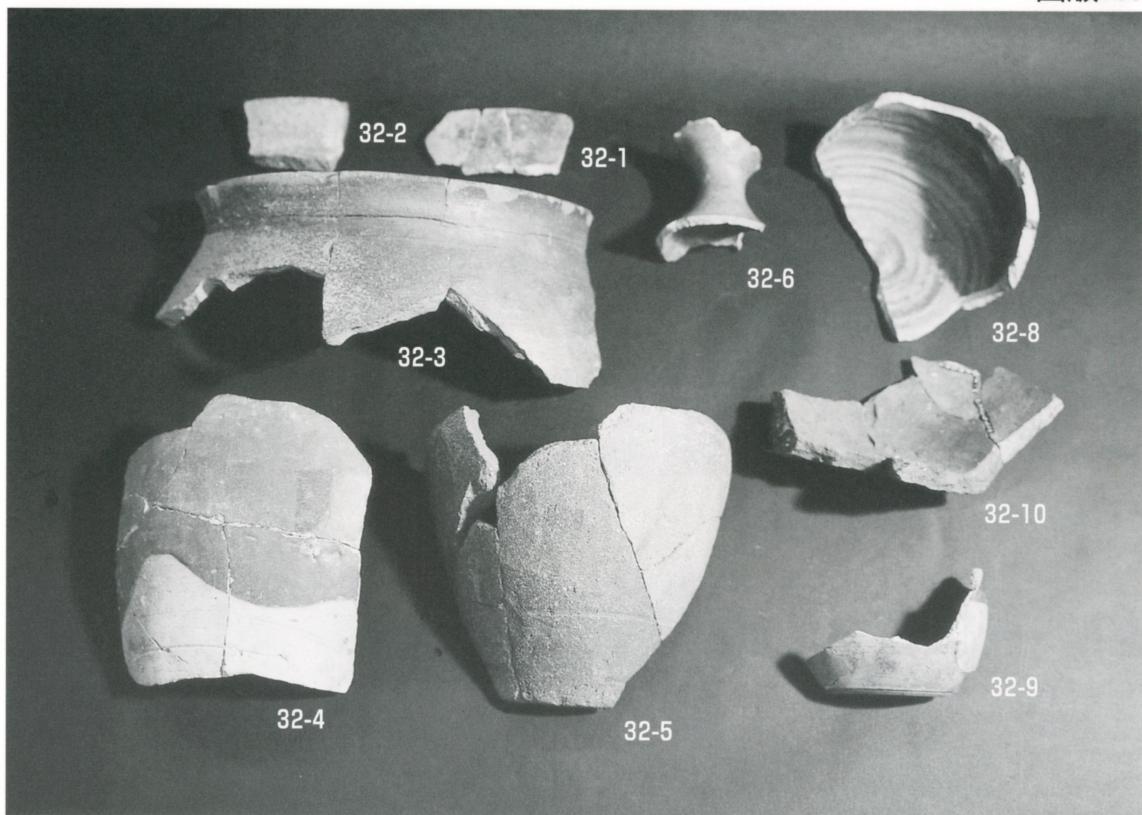


二の丸出土遺物 ②



二の丸出土遺物 ③

図版-17



二の丸出土遺物 ④



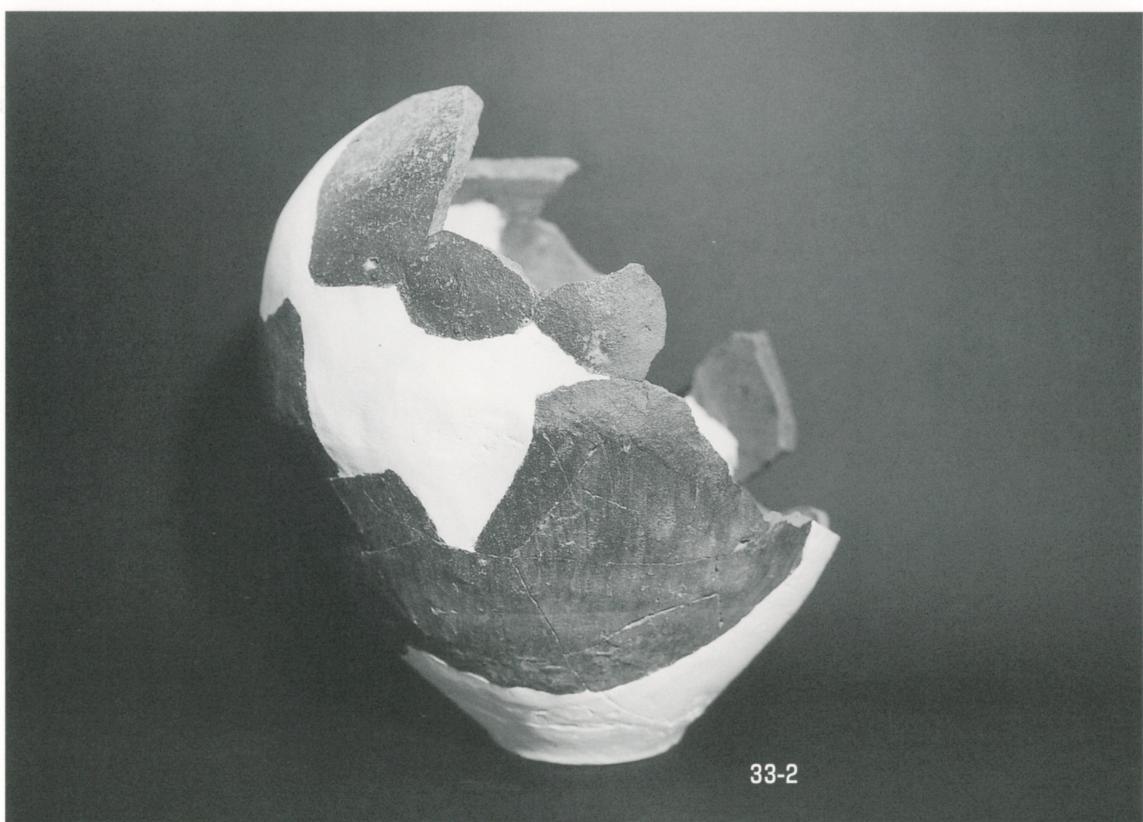
二の丸出土遺物 ⑤

図版-18



33-1

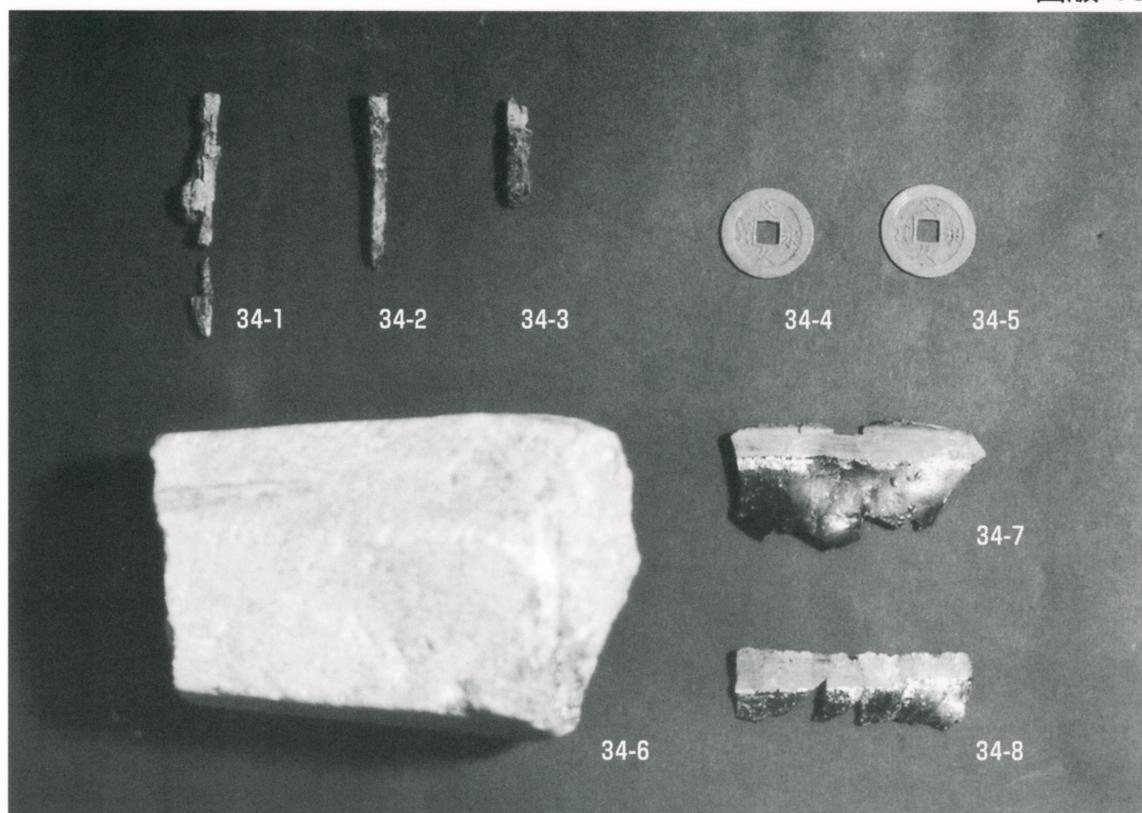
二の丸出土遺物 ⑥



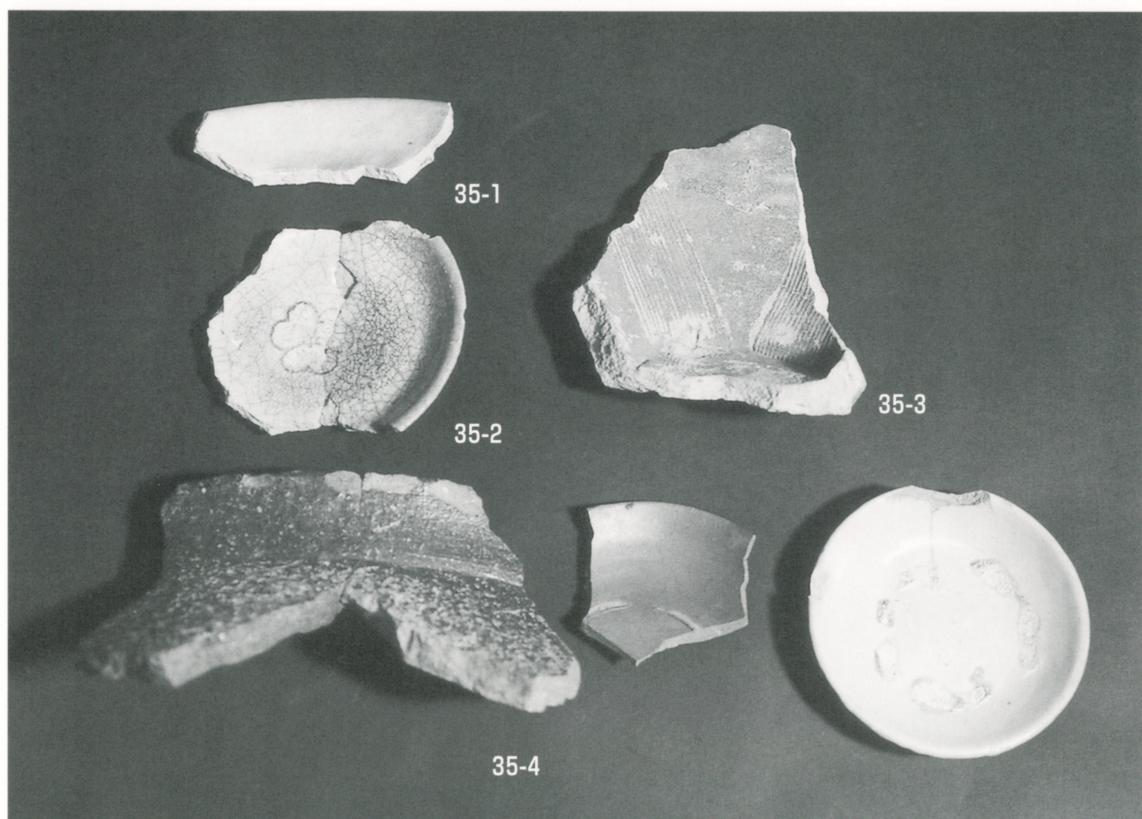
33-2

二の丸出土遺物 ⑦

図版-19

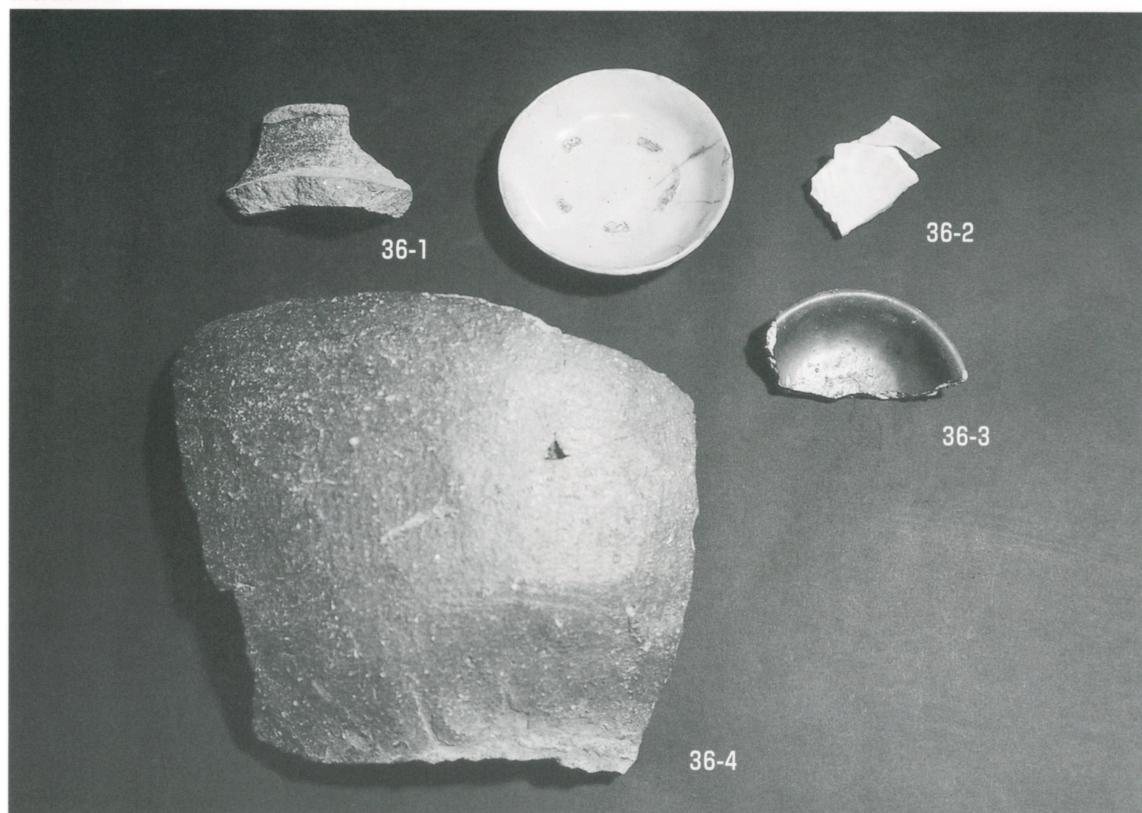


二の丸出土遺物 ⑧



土橋、袖曲輪、馬出し曲輪出土遺物

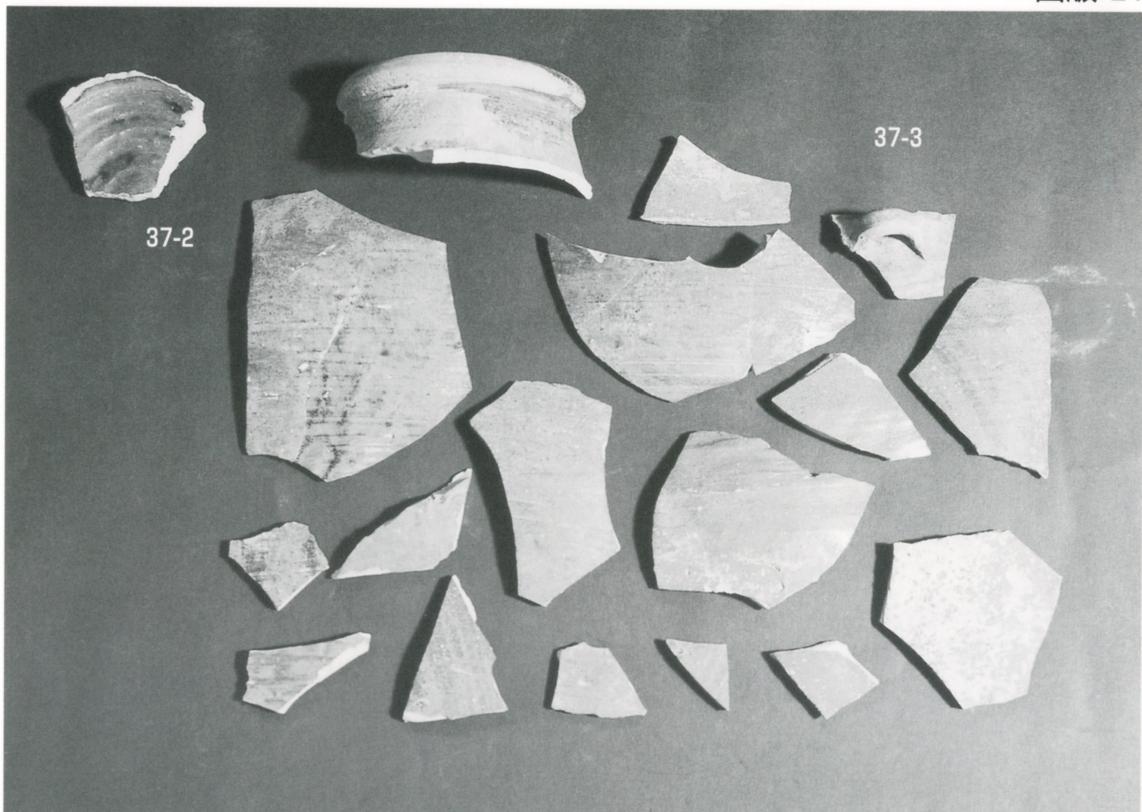
図版-20



横堀出土遺物 ①



横堀出土遺物 ②

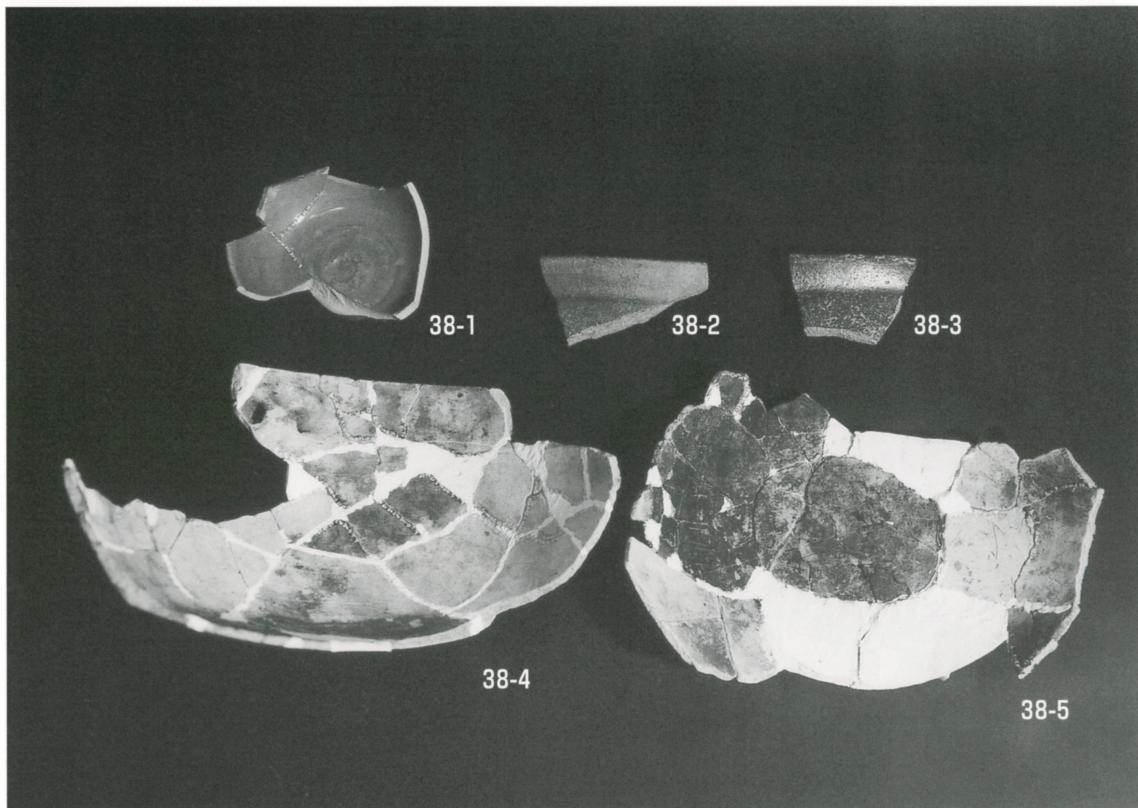


横堀出土遺物 ③



横堀出土遺物 ④

図版-22



尾曲輪出土遺物

大東町高天神城跡出土漆膜の塗膜構造調査

(株)吉田生物研究所

1.はじめに

静岡県大東町に所在する高天神城跡から出土した、中世末期に比定されている漆膜1点について、その製作技法を明らかにする目的で塗膜構造調査を行なったので、以下にその結果を報告する。

2.調査資料

調査した資料は、縦3.5×横7.5cmの範囲におさまる、外面に漆が塗られ内面の端部付近にそって平織りの布目が見られる、わずかに内湾した漆膜である。この他に小片が附隨する。残存する漆膜の端部付近には、赤色漆が約2cmの幅でみられる。その上部には黒色の漆塗りの上に金箔が部分的に残る。

3.調査方法

資料本体から数mm四方の破片を採取してエポキシ樹脂に包埋し、塗膜断面の薄片プレパラートを作製した。これを落射光ならびに透過光の下で検鏡した。

4.断面観察結果

塗膜断面の観察結果を表1に示す。

表1 断面観察結果表

遺物名	写真No.	塗膜構造(下層から)			
		布層	下地層	漆層	
				構造	赤色顔料
塗膜	1~6	布	漆+地の粉	透明漆2層／金粉 ／赤色漆1層	朱?

塗膜構造：下層から布層、下地、漆層が重なる様子が観察された。

布層：布が2枚以上重なっていた。断面を観察したところ、布は植物纖維で織られていた。植物纖維そのものは残存していない。その布纖維の周囲には茶褐色の漆がしみ込んでおり、布に漆が塗布されたことがわかる。この漆部分には、橢円形のでんぶん粒子が観察された。

下地:布層の上に大きな鉱物を含む地の粉漆下地層がみられた。

漆層:下地の上に漆層が重なっている。この漆層は全体に厚さが薄い。透明漆2層、部分的に金箔、赤色漆1層、という構造である。透明漆2層は層によつて色調が異なる。上層の方がやや暗い色調である。この透明漆2層の上に金箔が部分的に観察された。

さらに上に赤色漆1層がみられた。

赤色顔料:最上層の赤色漆層に混和された赤色顔料は、透明度の高い朱粒子である可能性が高い。

5.摘要

高天神城跡から出土した漆膜の塗膜構造を調査した。

下層から布層、下地層、漆層と重なる様子が観察された。

布層は少なくとも2枚以上が重なる植物纖維で織られた平織りの布で、組織の隙間にでんぶん粒子を含む漆がしみ込んでいた。

下地は地の粉漆下地であった。

漆層は透明2層、(部分的に)金箔、赤色漆1層が観察された。赤色顔料は朱の可能性が高い。

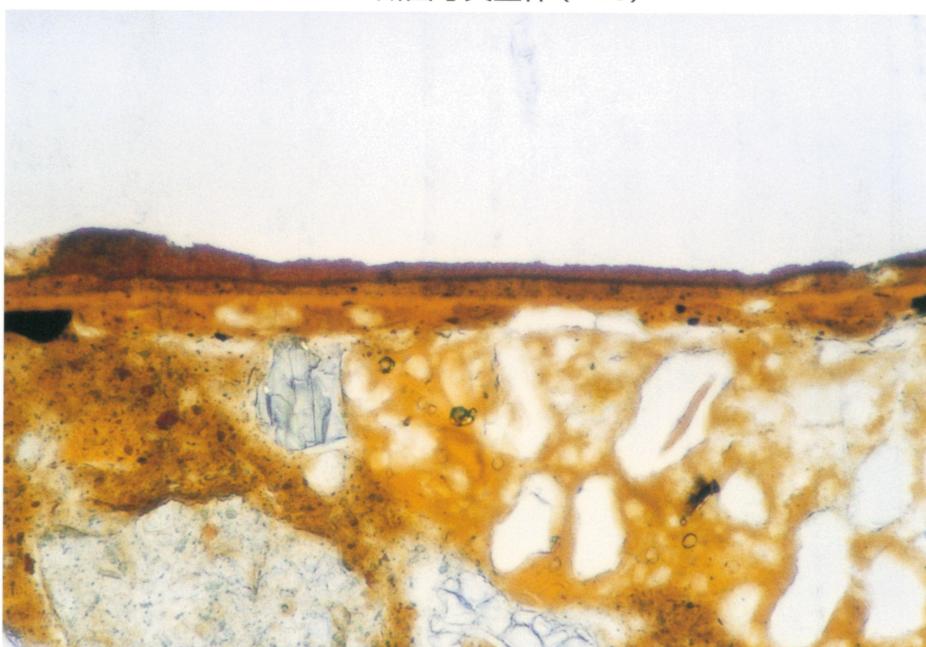
以上の観察結果と漆膜自体が内湾している点から、資料は曲面に仕上げる陣笠の一部である可能性がある。



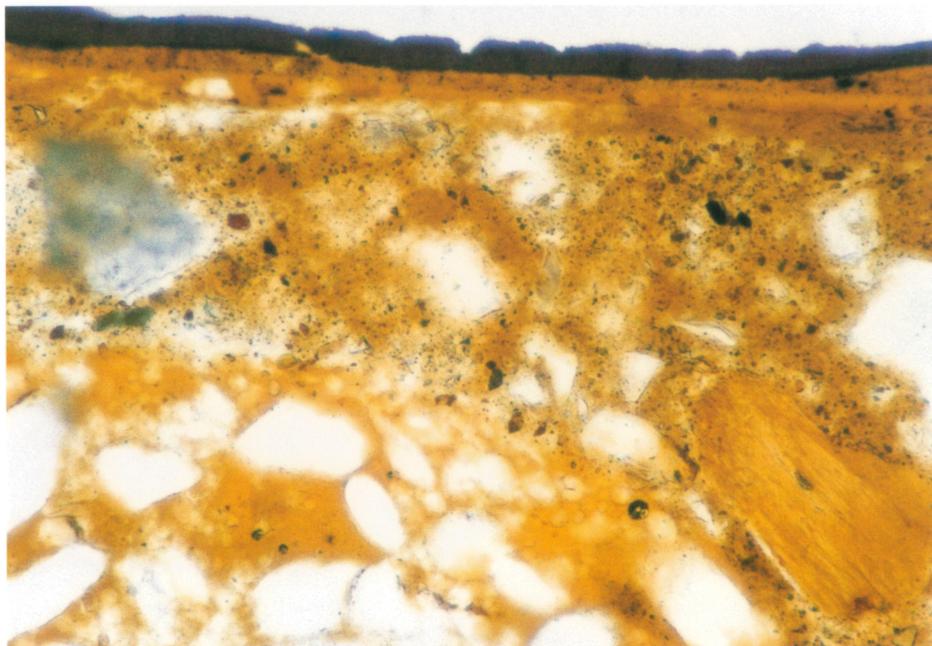
No1. 試料拡大 ($\times 20$)



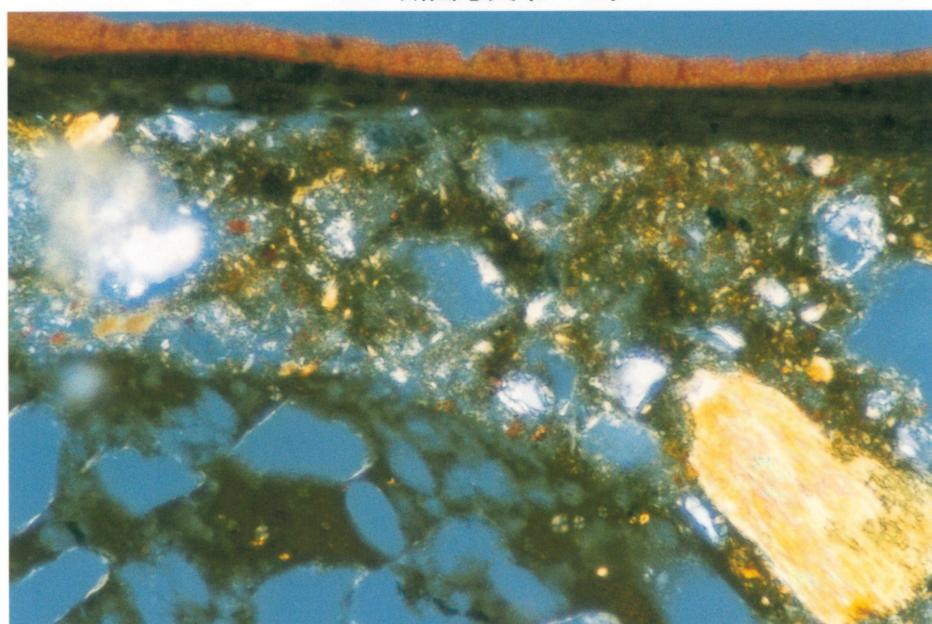
No2. 断面写真全体 ($\times 40$)



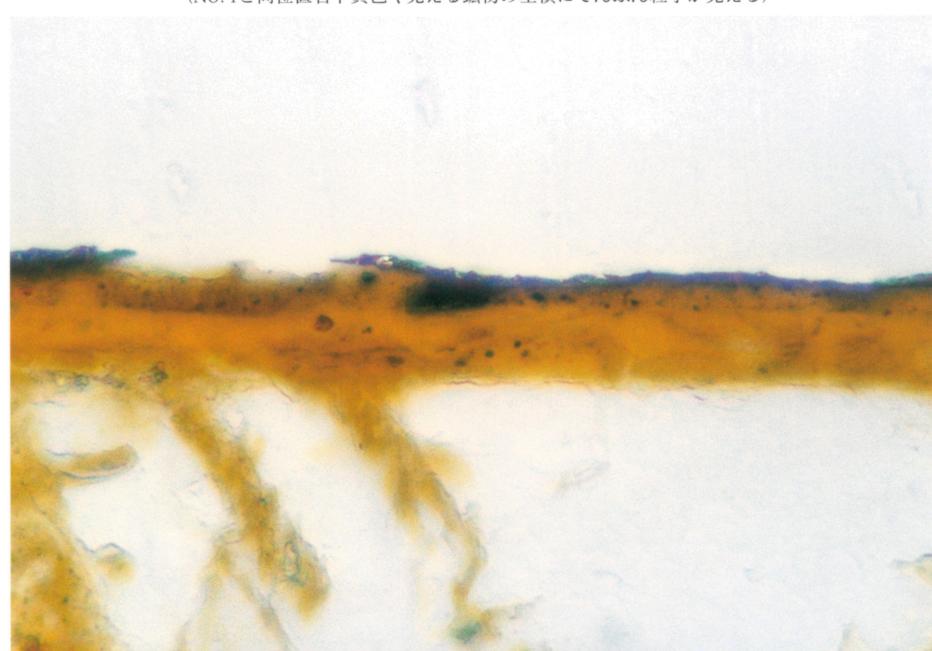
No3. 断面写真下地層、漆層 ($\times 400$)



No4. 断面写真 ($\times 400$)



No5. 偏光下での写真 ($\times 400$)
(No.4と同位置右下黄色く見える鉱物の左横にでんぶん粒子が見える)



No6. 断面写真 金箔部分 ($\times 800$)